

# 薬連ハイライム

## 「JPA (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム 2020」開催される

2月11日、「JPA (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2020」が東京四谷スクワール麹町において13時30分～17時まで開催された。テーマは「継続～魅せます！女性の力～」

開会挨拶に立った山本会長は、横浜に停泊中のクルーズ船において新型コロナウイルス対応で薬剤師が活躍していることを報告した。組織代表議員を2名持ったことの大きさを実感している。今、次期候補の人選している所だ。皆様から頂いた力を再び頂きたいと挨拶した。とかしきなおみ衆議院議員は、今回の調剤報酬改定では、人により寄り添う方向が示されている。テーマのとおり女性の力を魅せてもらいたいと挨拶した。石井副会長から調剤報酬改定内容が説明された後、本田顕子参議院議員から国会報告が行われた。厚生労働委員会に藤井基之参議院

議員と共に所属し、薬機法改正の審議ではそれぞれ30分の質問時間を頂いた。地域支援薬局等への財政支援等5項目の質問をしたことが紹介された。

プレゼンテーションでは、東京都・三重県・徳島県・佐賀県での具体的な支援活動が報告され、パネルディスカッションでは時間が足りなくなるほどの活発な意見交換が行われた。

最後に、近藤由利子日本女性薬剤師連盟会長は、選挙に勝ったのは皆さんの成果である。この力を継続し、次期選挙に取り組んでももらいたいと総評した。

そして、岩本幹事長の閉会挨拶で、散会となった。



## もとゆき 便り

### 参議院予算委員会

自由民主党政務調査会会長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井もとゆき



第201回通常国会は1月20日に召集され、衆参両院の本会議にて安倍首相の所信等を聴取し、6月17日まで150日間にわたる論戦の火蓋が切られました。

国会では各党の代表質問に続き、令和元年度補正予算案の審議が行われました。衆議院は1月28日に当該補正予算案を可決し、翌29日から参議院予算委員会での質疑がスタートしました。

私は29日の予算委員会において、自民党のトップバッターとして質問に立ちました。先ずは、中国を中心に急拡大する新型コロナウイルス感染症を取り上げ、午前武漢から羽田に到着した第1便チャーター機に搭乗した在住邦人の検査・検疫等の手順、及び入国後の対処方法等について確認しました。また、武漢市からの邦人の早急な帰国実現と、最大限の感染拡大防止を要請しました。人類は抗菌剤やワクチン等の開発により、感染症の脅威を克服してきた永年の歴史があり、画期的な治療薬、予防薬の開発への取組が重要であることを訴えました。

少子化対策については、男性の育児休業取得の促進や子育てしやすい寛容な社会を築いていくことの必要性とともに、抜本的な対策実施の重要性を強く訴えました。

質疑の様子はNHK総合TVで生放映されましたので、ご覧頂いた方もあるかと思えます。

## オレンジ日記

### 循環器病対策基本法

自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長  
参議院議員・薬剤師 本田顕子



2018年12月、議員立法により循環器病対策基本法（健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法）が成立し、昨年12月1日から施行されています。

本法律は、循環器病が国民の疾病による死亡・介護の主要な原因になっている現状に鑑みて、循環器病予防等に取り組むことで、国民の健康寿命の延伸を図り、医療・介護の負担軽減に資することを目的としています。

この法律では、政府に「循環器病対策推進基本計画」の作成を、また、都道府県に「都道府県循環器病対策推進計画」を策定することを求めています。

基本計画の案の作成に当たっては、厚生労働省に設置された「循環器病対策推進協議会」の意見を聞くことになっています。協議会の委員は20人以内で構成されており、疾病の治療には薬が不可欠であることから、協議会は2月3日に日本薬剤師会等の関係団体から意見聴取を行いました。

一方、本法律が議員立法であったこともあり、超党派の「脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟」（会長：尾辻秀久議員）が設立され、私は事務局次長を務めることになりましたが、薬剤師であることから声がかかったものと理解しています。この議員連盟においても3月上旬に日本薬剤師会からのヒアリングが予定されています。